

会 議 記 録 （ 概 要 ）

会議名	第2回福祉共生部の公の施設に係る指定候補者選定委員会
日時	令和2年9月30日（水） 午後1時から午後4時30分
場所	三田市総合福祉保健センター 2階多機能室・講座室
出席者	足立委員長、服部副委員長、浅川委員、今西委員、北野委員
事務局等	入江福祉共生部長、岸本共生社会推進室長、北中健康推進室長 障害福祉課：鶴課長、山口副課長、上月係長、堀主任 健康増進課：多田課長、高階係長、下口事務職員
添付資料	
議題及び項目	内容又は意見
1 開会	
2 審査の実施方法	<p>プレゼンテーション及びヒアリング審査は公開とし、 指定候補者の選定に関する意見等は非公開とする。</p>
3 ヒアリング審査の事前確認	
4 プレゼンテーション・ヒアリング審査	
	<p>プレゼンテーション・ヒアリング審査（障害児療育センター） ・傍聴者なしの報告あり。</p> <p>【プレゼンテーション】公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団</p> <p>【ヒアリング】</p> <p>①事業の中でさまざまな取組がなされていることはよくわかる。一方で地域の中核の児童発達支援センターとして療育、教育の一貫した支援、連携のビジョンについてどう考えているか。</p> <p>②障害児のいる家庭で、就労中でも体調不良などで呼び出しを受けるなど、苦勞している話を聞く。緊急時の対応などどのようになっているのか。</p> <p>③アンケートの実施に関する項目があるが、これまで実施した実績があるのか、それを受けて改善された内容があれば、特にソフト面について教えてほしい。</p> <p>④</p> <p>(ア) 収支予算書について、財源として寄付金等が当てられているが、実際の収入の見込はあるのか。</p> <p>(イ) 経費削減の取組について、事業費が増加しているが、そのあたりはどう考えているか。</p> <p>(ウ) 事業費とかかった費用との対比について評価するような指標はあるのか。</p>

- (エ) 第三者機関の評価を受けた実績があるか、指摘された内容は。
- (オ) 理事会、評議会の開催状況、委員の出席状況について。
- (カ) 理事と委員の兼務について。
- (キ) 理事と関連事業所との取引についてはどうか。

【説明、回答】

- ① かるがも園内では各種訓練士等の医療職と、保育士などの療育に関わる教育職が連携して対応している。医療職による本人の能力のチェックと教育職による日常活動などのチェックを通しての支援を実施。学校でも同様の対応が求められるがなかなか連携は難しい。かるがも園での支援形態を地域に広げていくため、まずは現場、学校の先生や組織、集団の担当から現状を確認し、発達支援センターとも協議しながら働きかけを進めていく。
- ② かるがも園では医療的なケアが必要な児童も含め重度の障害児も9～14時で支援している。また、市の委託を受け一時預かり事業「のびのび」で17時30分まで、かるがも園の児童以外でも受け入れている。利用の制約はあるが、緊急の場合は柔軟に対応。また、相談支援事業において、あらかじめ受け入れできる事業所の情報を提供したり、行政とも連携しながら必要な場所を案内するなどしている。
- ③ かるがも園では保護者に年1回のアンケートを実施。結果を内部で共有し保護者会において一つずつ回答。またクラスごとに要望を聞く場も設定しており、対応を行っている。内容としては、「自分の子が叩いてしまうのでどうしたらよいか」などの加害者側の親の声が多い。保育中のトラブルは園の責任で対応し、園と家庭が連携して発達を支援することで、子どものセルフコントロールする力をつけていく。
また、こども広場の年2回の大きなイベント等で園児以外の保護者にもアンケートを実施、子育てに関する講演を実施したり、相談できる機関を案内したり、イベントの実施などで、その声にこたえている。
- ④
 - (ア) 寄付については法人全体で考えている。テクノパークなどの企業も視野に入れている。
 - (イ) 経費の削減については、事業の質は高めながら指定管理料は同額で実施することを想定。助成金など受けられるものは積極的に応募。
 - (ウ) 費用対効果に関する指標はなし。
 - (エ) 第三者評価は実施なし。法人内の施設間で互いにチェックはしている。

<p>5 指定候補者の選定 (三田市障害児療育センター)</p> <p>6 ヒアリング審査の事前確認</p>	<p>(オ) 理事、評議会は年4回。 (カ) 兼務はしているが、会としては別で行っている。 (キ) 関連事業所との取引はなし。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>指定候補者の選定に関する意見等は非公開とする。</p> </div>
<p>7 プレゼンテーション・ヒアリング審査</p>	<p>プレゼンテーション・ヒアリング審査 (総合福祉保健センター) ・傍聴者なしの報告あり。</p> <p>【プレゼンテーション】 A社</p> <p>【ヒアリング】</p> <p>① 売上高等に消費税を含んだ形で決算書が作られていると思うが、あまり一般的ではないと思う。外部に説明していく資料としては問題があるように感じる。読み手にわかりやすいよう、一度社内で検証いただきたい。</p> <p>② 当施設は保健福祉施設ということで営業的には収益が上がりにくい分野と考えるがどうか。</p> <p>③ 三田市に対する貢献ということで提案されていると思うが、「提案書」に他市の名前が入ったページがある。使い回しと思われ、このようなのを見ると本気度を疑ってしまう。</p> <p>④ 三田市の福祉の拠点にしたいということだが、三田市の福祉の最大の課題は何と考えているか。 各地域に共通の課題というのも大切だが、三田独特の課題という認識も必要だと思う。</p> <p>⑤ 三田市は、都市部と郡部の両面がある。いろんな地域の人がこの施設を利用すると思うが、地域性みたいなところを大切にしていきたい。</p> <p>【説明、回答】</p> <p>① 消費税を含んだ決算は創業当時から行っている。今後、検証したい。</p> <p>② 保健福祉施設を問わず、指定管理事業というのは大きな収益があるわけではない。その反面、社会貢献度、地域貢献度が高い事業で</p>

あり、地域に根差す中小企業として指定管理事業に取り組んでいる。

③ 指定管理施設を多数保有しており、緊急時対応や個人情報対応はすべての施設で共通のものであるため、今回のミスが発生した。お詫び申し上げます。

④ すべての市町村において、地域福祉の中で担い手不足であったり、地域の方々の活躍の場の不足であったりが問われていると思う。指定管理施設を活用して、福祉に触れるきっかけを提供する観点で運営していきたい。

このような課題は、三田市の総合計画にも書かれていたと認識しており、三田市と歩調を合わせながら運営していきたい。

⑤ 提案している事業は、他の指定管理施設でも実績があり、高評価を得ている事業である。どのような事業を実施するかは、ニーズをしっかりと把握して事業を展開していきたい。

8 ヒアリング審査
の事前確認

指定候補者の選定に関する意見等は非公開とする。

9 プレゼンテーション・ヒアリング審査

プレゼンテーション・ヒアリング審査（総合福祉保健センター）
・傍聴者3名の報告あり。

【プレゼンテーション】社会福祉法人三田市社会福祉協議会

【ヒアリング】

① 業務委託費が増えているが、新たに委託する分野が増えているのか。また、赤字の収支になっている。関連業務全体でプラスするということも考えられるが、そんな考え方でつくられているのか。

② 社協職員の兼務はないのか

③ 人件費は按分されているのか。

④ 高齢化が進むと施設まで出向けない人が増えると思うが、そういうときにセンターを基地にして出向くという活動は考えているか。

⑤ 収支をあげていくような具体的な計画はあるのか。

【説明、回答】

① 実績について、ここ5年については、修繕や備品購入など市と協議して実施した結果、マイナス収支となった年もある。

業務委託費は、業者見積の平均的な金額で提案している。年々、人件費が上昇しており、それに伴い業務委託料も増加している。

- ② 指定管理事業を担当しているのは総務課で、窓口のパート職員はいるが、市との調整、契約事務などは社協の正規職員が担当している。
- ③ 総務課職員も指定管理事業に携わっており、予算的には賄いきれない状況。社協の独自部分から捻出しており、この予算書では表しきれない部分がある。
- ④ 社協は、高齢者、障害者を問わず福祉の主要事業をかなり受けており、地域に出向いて相談に乗るという事業もたくさんある。そういう部分で専門職も多く抱えており、そこが社協の強みである。
- ⑤ 社協としての収益は減少傾向にあるが、社協の専門性を活かした新たな収益分野の開発については、プロジェクトチームを作って検討している状況である。

10 指定候補者の選定
(三田市総合福祉保健センター)

指定候補者の選定に関する意見等は非公開とする。

11 閉会